

科目	国語 (Japanese Language and Literature)		
担当教員	(前期)西岡 一也 (後期)石山 貴裕 非常勤講師		
対象学年等	機械工学科・1年A組・通年・必修・3単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	B1(100%)		
授業の概要と方針	国語総合の教科書を中心に、読解・理解・表現の領域において国語の基礎的・基本的な能力の養成に重点をおいて指導するとともに、言語文化への関心を深めさせ、人間の根幹となるものを養うように心がけて授業を展開する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B1】 基本的な語彙を身につける。		教育漢字はもとより常用漢字の基本的なものが、読み・書くことができるか、基本的な言葉の意味を理解し正しく使うことができるかを、4回の試験で評価する。
2	【B1】 目的に応じて文章を正確に理解する能力を養う。		評論文や随想文の作者の主張が確実に把握できているか、小説に登場する人物の心理や生き方を正確に理解できているかどうかを、4回の試験及びレポートで評価する。
3	【B1】 様々な基本的な修辞法を理解できるようにする。		文章はもとより、詩・短歌・俳句に関する表現上のきまりなどが身についたかどうかを、4回の試験で評価する。
4	【B1】 文語のきまりや、漢文訓読のきまりが理解できるようになる。		古文の歴史的仮名遣いが読め、品詞の判別ができる。基本的な言葉の意味を覚える等のできるか、漢文の訓読ができるか、漢文の大意を読み取ることができるかなどを、試験で評価する。
5	【B1】 日本文化や伝統に対する、基礎的な理解を持てるようにする。		古文・漢文の作品の歴史的背景や文学史的位置づけを理解し本文の読解を通して、古代人の物の考え方や価値観が理解できたかを4回の試験で評価する。
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験90%、レポート10%として評価する。成績は、試験90%レポート10%として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「高等学校 国語総合」[改訂版] (三省堂)		
参考書	「現代国語例解辞典」(小学館)		
関連科目	2年 国語		
履修上の注意事項	無し		

授業計画 1 (国語)

週	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	評論を読む・古文入門	「水の東西」を全文通読する。漢字の読みを指導する。言葉の意味を説明する。「田舎の児、桜の散るのを見て泣くこと」を読み、歴史的仮名遣いに慣れる。
2	評論を読む・古文入門	作品の展開にしたがって、個々の文の指示内容、表現上の特徴等を考える。言葉の意味を中心に、現代語と古語の違いを理解させる。
3	評論を読む・古文入門	作品の要旨を理解させ、筆者の主張を読み取る。「児」の心理状態を明確にするとともに、この説話の面白さを理解する。
4	小説を読む・古文に親しむ	「富嶽百景」の全文を通読する。漢字の読み、言葉の意味を理解する。「公世の二位のせうとに」を通読する。古語について説明する。
5	小説を読む・古文に親しむ	小説全体の文章構成を理解させる。小説の筋の展開を把握させ、主人公の果たす役割を理解する。古文の基本的な文法に関する知識を理解する。
6	小説を読む・古文に親しむ	小説の主人公の描写や生き方から、心の動きを読み取るようにする。古文全体の大意をつかみ、当時の人々のものの考え方を理解する。
7	小説を読む・古文に親しむ	この小説を通して、人の生き方や作者の考えを把握できるようにする。古文を正確に現代語訳し、「徒然草」の文学史的位置づけを理解する。
8	中間試験	1週目から7週目までの内容について行う。
9	詩を鑑賞する・古典の随筆を読む	音読を通して、詩の韻律を実感させる。詩が作られた背景や文学史的位置づけを説明する。「徒然草」(第百三十七段)の全文を通読する。作者と時代背景についての理解を深める。
10	詩を鑑賞する・古典の随筆を読む	詩固有の言語表現について説明する。「徒然草」の難解な語句について、解説する。
11	詩を鑑賞する・古典の随筆を読む	詩的言語の理解を通して創造力を養うとともに、詩人の語ろうとしていることを理解させる。「徒然草」の語句に関する文法的な事項について解説する。
12	評論を読む・古典の随筆を読む	「ものごとことば」という評論を全文通読する。漢字の読みの指導と主な漢字の習得を指示する。言葉の意味を説明する。「徒然草」を現代語に訳す。
13	評論を読む・古典の随筆を読む	評論文全体の文章構成を理解する。評論文特有の明快な論理の展開と表現を解説する。「徒然草」の読解を通して、中世特有の価値観を理解する。
14	評論を読む・古典の随筆を読む	筆者の科学的な考察の姿勢を説明し、それをいかに表現しているかを理解する。徒然草」の読解を通して、中世特有の文体的特徴に関する知識を深める。
15	評論を読む・古典の随筆を読む	筆者の物事の本質に迫る思考のあり方を理解する。「徒然草」に表現された内容を通して、筆者の物の考え方や価値観を理解する。
16	近代小説を味わう・漢文に親しむ	「羅生門」の全文を通読する。作者の他の作品に関する知識や文学史的位置づけについて説明する。「漢文」の日本文化への影響や、「漢字」の受容の背景について説明する。
17	近代小説を味わう・漢文に親しむ	「羅生門」に用いられた、語句について解説する。「羅生門」の構成について理解する。漢文を訓読するのに必要な基礎的知識を説明する。
18	近代小説を味わう・漢文に親しむ	「羅生門」の展開にしたがって、個々の文の指示内容や、表現上の特徴等を理解する。「漢文」の訓読法が正確に身についたか、演習方式で確認する。
19	近代小説を味わう・漢文に親しむ	「羅生門」の構成や筋の展開を把握し、登場人物の置かれている状況を理解する。「漢文」の再読文字や置き字等が正確に身についたか、様々な漢文を書き下し文に改めることで確認する。
20	近代小説を味わう・中国の故事を学ぶ	「羅生門」の登場人物の描写や発言から、心の動きが読み取れるようにする。中国の故事を全文通読し、書き下し文に改める。
21	近代小説を味わう・中国の故事を学ぶ	「羅生門」の登場人物の生き方を考え、様々な状況の中で生きる人間の認識を深める。中国の故事に用いられた語句を解説する。
22	近代小説を味わう・中国の故事を学ぶ	この小説を通して、作者が述べたかったことをまとめる。中国の故事を全文現代語に改める。それを通して中国の思想を学習する。
23	中間試験	16週から22週までの内容について行う。
24	随想文を読む・歌物語を読む	「祝福のことば」を通読する。漢字の読みと主な漢字の意味を知る。平安時代に書かれた「歌物語」について解説する。「伊勢物語」の第九段を通読する。
25	随想文を読む・歌物語を読む	随想文全体の構成について理解を深める。作品の展開にしたがって、個々の指示内容、表現上の特徴等を考える。平安時代の古語の意味や用法について説明する。
26	随想文を読む・歌物語を読む	随想文の要旨を理解させ、筆者の主張を正確に読み取れるように解説する。「伊勢物語」の敬語表現についての理解を深め、登場人物の人間関係を明らかにする。
27	随想文を読む・歌物語を読む	随想文の読解を通し筆者の確かな視点と表現力を理解する。
28	短歌を鑑賞する・歌物語を読む	近現代短歌を集めた「その子二十」の中で、主要な歌人と作品を抜きだし、歌人の文学史的位置づけ・作歌事情・時代背景について解説する。「伊勢物語」の物語の展開と、その中に挿入された和歌との関連を理解する。
29	短歌を鑑賞する・歌物語を読む	「その子二十」に取り上げられた主要な短歌について、短歌固有の修辞を解説し、歌意の理解を深める。「伊勢物語」第九段を現代語訳する。
30	短歌を鑑賞する・歌物語を読む	「その子二十」の語句の解説を通して、短歌の世界を鑑賞する。「伊勢物語」全体に流れる、伝統的な文化や美意識を登場人物や和歌の鑑賞を通して理解する。
備考	前期、後期ともに中間試験および定期試験を実施する。	